

環境モデル都市 円卓会議 会議録

部 会 名	ISOのまちづくり円卓会議		記入者	池崎(市役所)
開催回数	第5回			
開催日時	平成21年11月16日(月)13時30分～15時			
開催場所	市役所秋葉2階ラウンジ			
出席者	所属	名前	所属	名前
	推進委員・ISO監査委員	齋藤 潔	地域婦人会	前田チヅ子
	ごみ減量女性連絡会議	大迫紘子	市環境対策課	一期崎
	推進委員・校長会	齋所敬三	市環境モ推進課	川野・池崎
出席者 計7名				
欠席者	山海館(旅館)	松永	推進委員・青年会議所	渡邊 亨
	水俣さくら保育園	山田誠次	商工会議所	小島 真一
	水俣高校	佃 隆樹	市教育総務課	岩井
	市商工観光振興室	水田		
欠席者 計7名				
内 容	<p>1. ①前回の確認：会議録参照。 ②市民講座の報告：10月27日にふれあいセンターで新聞紙を使ったエコバッグづくりを開催した。講師には、熊日東販売店センターの釜さんをお招きした。当日は一般の参加者が12名程度で、和やかな雰囲気の中、新聞エコバッグを作成し、作成したバッグの中に、ふかし芋を入れて持ち帰っていただいた。平日の昼間に行ったためか、主婦層の参加が多く、この時間帯に市民講座を行う必要性も感じた。</p>			
	<p>2. 家庭版ISO(案)の検討 環境) 冊子の印刷代を12月の補正予算で組んでいる。シール(ステッカー)もつくりたいと考えている。 事務局) 補正予算で冊子代が通らなければ、来年度の予算に組み込みたいと思っている。</p> <p>●家庭版ISOの内容について 前回の円卓会議で出た意見を参考に改正した家庭版ISO(案)を見て、自由に意見をもらった。【次ページ参照】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冊子は、表裏をカラーにして、3000部(4年分)作成する。 1つの冊子で2年分記録し、比較できるようにする。 ・最終案を作成して送るので、確認してもらいたい。 ・CO2の補正係数は、県内の市町村と比較できるように、熊本県の数値を用いる。 <p>3. 諸連絡 事務局) 環境モデル都市フェスタには、ぜひ参加をお願いしたい。また、前日の夜には、基調講演を務めていただく枝廣さんや、パネルディスカッションに参加いただく首長を招いての交流会も企画している。こちらの方も、ぜひ参加をお願いしたい。 推進役) 数年前に行われた十字路会議にも参加したが、大変面白かった。隣り近所お誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください。 メンバー) 新型インフルエンザが治まったかと思いきや、また患者が出始めた。手洗い・うがいの励行に気をつけてください。 モデル都市の市民意識は高いといわれるが、地区によって差がある。大切なのは、行動力と実践力である。それをどう高めていくのかが課題だと思われる。 そのことを前向きに考えてくれるモニターが必要であるし、こちら側でも何らかの形でモニターに返していけるような仕組みを考えていく必要がある。</p>			
次回開催日等	平成22年1月18日(月)13:30～ 場所は追って連絡する。			

内 容	<ul style="list-style-type: none">●家庭版ISOの内容について (表紙)<ul style="list-style-type: none">・家庭版ISOの名称=みなまたエコダイアリー・日付を記入する横に <u>(2ヶ年用)</u> と入れる。・氏名は、<u>家族名またはファミリー名</u>とする。(p.1) 家族の役割分担について<ul style="list-style-type: none">・家族の役割分担に <u>例を入れる</u>。(p.4~5) 記録用紙について<ul style="list-style-type: none">・<u>一ヶ月分の記入例を入れる</u>。・「項目」と「計」が明確になるように、<u>「軽油」と「計」の間の枠線を太くする</u>。・注意書きの3番目に、<u>CO2排出量の計算方法を追記</u>する。(p.6) グラフ<ul style="list-style-type: none">・グラフの見出しを、「<u>CO2排出合計量及び使用量総額</u>」とする。・記入例を追加する。・グラフ左側のCO2排出量の単位を (t) から <u>(kg)</u> にする。また、<u>上限値を1万</u> として <u>目盛りを追加</u>する。
-----	--